

授業科目	高次脳機能障害学Ⅱ				
担当者	掛川 泰朗（実務経験者）				
実務経験者の概要	身体障害領域の病院で複数年以上の実務経験あり。				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

高次脳機能障害学Ⅰを基に作業療法士が知っておく必要がある高次脳機能障害の検査方法を講義やグループワークで学ぶ。

■ 到達目標

1. 各高次脳機能障害の検査方法を理解できる。
2. 各高次脳機能障害の検査を抽出できる。
3. 各高次脳機能障害の特徴を理解できる。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション・高次脳機能障害の概要・認知機能の検査（HDS-R・MMSE）
- 第2回 注意の評価（TMT・かな拾いテスト）
- 第3回 注意の評価（CAT）
- 第4回 半側空間無視の検査（BIT）
- 第5回 記憶の検査（リバーミード行動記憶検査）
- 第6回 失行の検査（高次動作性検査）
- 第7回 構成障害の検査（コース立方体検査）
- 第8回 遂行機能の検査（WCST・BADS）

■ 評価方法

【科目試験（レポート）60%】発表20% 小テスト20% 授業中の居眠り、私語をするごとに-5点を減点する

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

高次脳機能障害Ⅰの復習をしておく様に。1回につき20分以上はかかる。レポートに表せるように文献を読むこと。

■ 教科書

書 名：高次脳機能作業療法学（標準作業療法学）
 著者名：能登真一
 出版社：医学書院

■ 参考図書

書 名：高次脳機能障害マエストロシリーズ③リハビリテーション評価
 著者名：鈴木孝治ほか
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。